

# TESmert TESmart

ユーザー

2×1 HDMI KVM スイッチ  
4×1 HDMI KVM スイッチ

マニュアル



————— HKS0201A3U & HKS0401A3U —————

To Enjoy Smart

————— HKS0201A3U & HKS0401A3U —————

日本語



**TESmert TESmart**

**日本語**

# 目次

1. 特徴	01	6.1 フロントパネルボタンの切り替え方法	
2. パッケージ内容	02	6.2 IR リモートコントロール	
3. パネルの説明	03	6.3 キーボードホットキー	
3.1 2x1 KVMスイッチのパネルの説明		7. ホットキーの組み合わせの変更	24
3.2 4x1 KVMスイッチのパネルの説明		8. パススルーモードの説明	25
4. 接続説明	07	8.1 パススルーモードの紹介	
4.1 接続図-2x1 KVMスイッチ		8.2 キーボードとマウスの互換性モデルリスト	
4.2 接続図-4x1 KVMスイッチ			
4.3 接続準備			
4.4 接続手順			
4.5 KVM作業台			
5. 機能説明	15		
5.1 内蔵充電モジュール			
5.2 自動スキャンモード			
5.3 マウスホイール切り替え			
6. 操作方法	18		

## 1. 特徴

- 1つのキーボード、マウス、モニターセットで2~4台のPCを制御する
- 3840x2160@60Hzの解像度に対応
- HDMI2.0に準拠
- HDCP2.2に準拠
- HDR10とDolby Visionに対応
- Unix/Windows/Debian/Ubuntu/Fedora/MacOSX/Raspbian/Raspberry Pi用のUbuntuやその他のLinuxベースのシステムに対応
- 各入力ポートにEDIDエミュレータを搭載し、常に正しい表示情報を持つPCを保持できる
- スーパースピードのデータ転送レートを持つUSB3.0ポートに対応
- IR信号、フロントパネルボタン、キーボードのホットキー、マウスホイールを使用して入力ポートの切り替えを制御するためのKVMに対応
- デバイスのオフにすることなく、いつでもKVMに接続されたデバイスを追加または削除できるホットプラグに対応
- 特定の時間間隔でコンピューターをモニターに自動的に切り替える機能に対応
- 切り替え後に遅延なくキーボードとマウスを使用できる
- マウスとキーボードの互換性を向上させるためのキーボードとマウスのパススルーモードに対応
- フロントパネルのUSB-Aポートに接続された携帯電話やタブレットなどのデバイスの充電に対応

## 2. パッケージ内容

### HKS0201A3U

- 1 \* 2x1 HDMI KVMスイッチ
- 2 \* KVMケーブル
- 1 \* IRリモートコントロール
- 1 \* DC 12V電源アダプター
- 1 \* ユーザーマニュアル

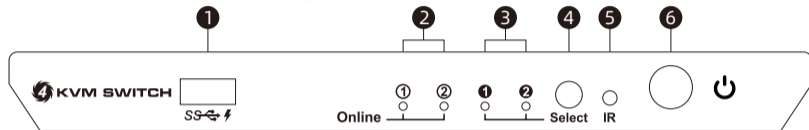
### HKS0401A3U

- 1 \* 4x1 HDMI KVMスイッチ
- 4 \* KVMケーブル
- 1 \* IRリモートコントロール
- 1 \* DC 12V電源アダプター
- 1 \* ユーザーマニュアル

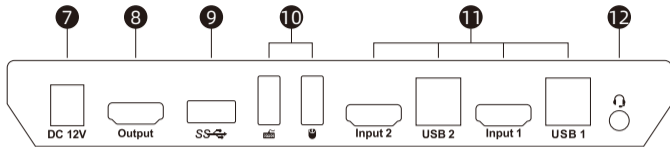
**ヒント:**製品を受け取った後、梱包リストを注意深く確認し、製品の輸送中に部品の紛失や製品の損傷がないことを確認してください。何か問題があれば、いつでもお気軽にお問い合わせください。

## 3. パネルの説明

## 3.1 2x1 KVMスイッチのパネルの説明



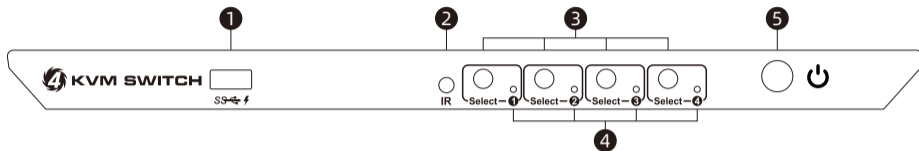
ID	名称	機能	ID	名称	機能
1	データ転送および充電ポート	データの転送やモバイルデバイスの充電に使用することができます。	2	USB接続状態のインジケータ	KVMのUSBポートがコンピュータのUSBポートに接続されている場合、LEDが点灯します（青色）。
3	入力選択状態の指示器	現在選択されているコンピュータデバイスを示すために、対応するLEDが点灯します（青色）。	4	入力選択ボタン	入力ソースを選択してください。
5	赤外線受信機	IRリモート信号を受信します。	6	電源スイッチ	電源のオン・オフを切り替えます。



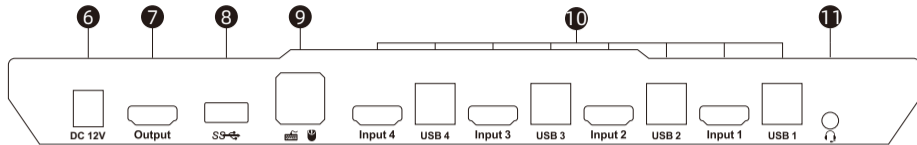
ID	名称	機能
7	DC 12V	12V DC電源供給。
8	HDMI出力	ビデオ出力のためにHDMIディスプレイに接続してください。
9	USB 3.0ポート	USB 3.0デバイスに接続してください。
10	キーボードとマウスの入力	USBキーボードとマウスの入力に使用します。
11	KVM入力ポートグループ	各グループにはHDMIポート（左）とUSBポート（右）があります。信号入力のために、ポートを対応する入力デバイスに接続してください。
12	オーディオ統合ポート	マイクロフォンとL/Rオーディオ出力が統合されています。



## 3.2 4x1 KVMスイッチのパネルの説明



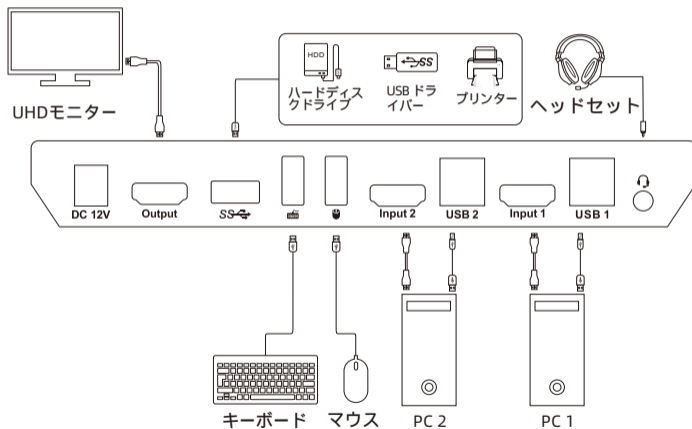
ID	名称	機能	ID	名称	機能
1	データ転送および充電ポート	データの転送やモバイルデバイスの充電に使用することができます。	2	赤外線受信機	IR リモート信号を受信します。
3	入力選択ボタン	入力ソースを個別に選択してください。	4	入力選択状態の指示器	各ディスプレイ上で現在選択されているコンピュータを示すために、対応するLEDが点灯します（青色）。
5	電源スイッチ	電源のオン・オフを切り替えます。			



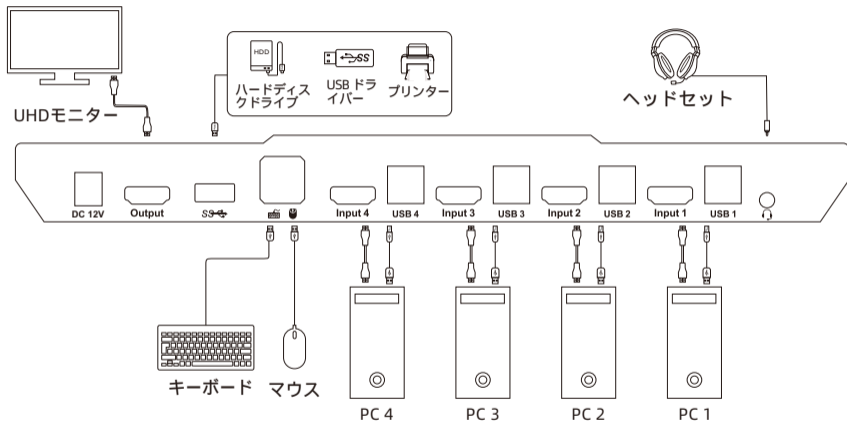
ID	名称	機能
6	DC 12V	12V DC電源供給。
7	HDMI出力	2つのHDMIディスプレイに接続してビデオ出力します。
8	USB 3.0ポート	USB 3.0デバイスに接続してください。
9	キーボードとマウスの入力	USBキーボードとマウスの入力に使用します。
10	KVM入力ポートグループ	各グループには、ビデオポート（左側にHDMI）とUSBポート（右側にUSB-A）があります。信号入力のために、ポートを対応する入力デバイスに接続してください。
11	オーディオ統合ポート	マイクロフォンとL/Rオーディオ出力が統合されています。

## 4. 接続説明

## 4.1 接続図-2x1 KVMスイッチ



## 4.2 接続図-4x1 KVMスイッチ



**ヒント:** この製品をより効果的にご利用いただくために、KVMの各グループポートを同じPCに接続することをおすすめします。

## 4.3 接続準備

- 接続が必要なすべてのデバイスを考慮し、接続前に十分な大きさの作業台を用意してください。
- 接続時に多くの電源ソケットやプラグボードを使用するため、電源の配置がしやすいようにケーブルを適切に配置してください。
- 接続時に多くのケーブルを使用するため、異なるステッカーラベルを準備してケーブルにマークしてください。



## 4.4 接続手順

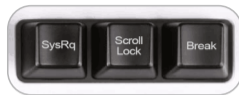
ここでは、4x1 KVMスイッチを例に挙げて接続手順を説明します。2x1 KVMスイッチも同様の手順で接続します。

1. PC1を1本のKVMケーブルで接続し、HDMI端子をPC1のHDMIポートとKVMのHDMIポートで接続します。USB Type-A端子をPC1に接続し、Type-B端子をKVMに接続します。



2. PC 2~4も同じ方法で接続します。

3. 外部のマウスとキーボードをKVMのキーボードおよびマウスの入力ポートに接続してください。



ヒント：ホットキーの正常な動作を確保するために、外部のフルキーのキーボードを使用し、[Scroll Lock]キーを別途利用することをおすすめします（上図参照）。

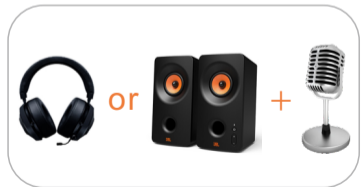
4. USB 3.0デバイスをKVMの標準のUSB 3.0ポートに接続してください。



5. KVMのHDMI出力ポートをHDMIケーブルでHDMIディスプレイに接続してください。



6. 外部オーディオデバイスをKVMのL/R出力ポートに接続してください。





7. 電源ケーブルをKVMのDC 12Vポートに接続し、電源ソケットに挿入してください。



8. これで接続は完了しました。電源を入れると、KVMスイッチが作動します。

ヒント：フロントパネルの充電ポートの使用方法については、ページ15を参照してください。

## 4.5 KVM作業台

以下に、2x1HDMI KVMスイッチが正常に接続された作業台を示します:



以下に、4x1HDMI KVMスイッチが正常に接続された作業台を示します：



## 5. 機能説明

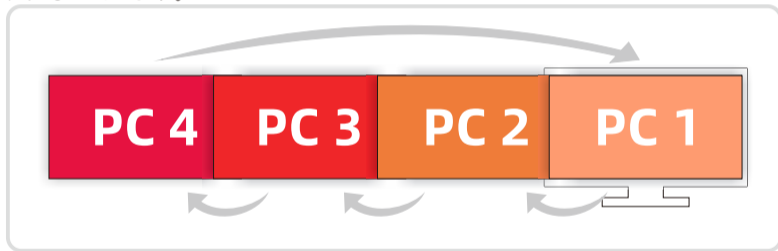
### 5.1 内蔵充電モジュール

HDMI KVMスイッチには、内蔵の充電モジュールが搭載されており、携帯電話やタブレットなどのデバイスを充電することができます。KVMの前面パネルのUSB-Aポートを使用すると、充電しながらデータの転送もサポートできます。USB-AポートはBC 1.2プロトコルに対応しており、充電デバイスの仕様に基づいて電圧と電流を自動的に調整することができます。これにより、安全な充電が可能であり、損傷を防ぐことができます。



## 5.2 自動スキャンモード

オートスキャン機能は、定期的な間隔でKVMに接続されていて電源がオンになっている入力デバイス間でディスプレイを自動的に切り替えます。その結果、各ポートに接続されたすべての入力デバイスをユーザーの介入なしで監視することができます。オートスキャンモードはデフォルトではオフになっています。



**ヒント** : 2x1 HDMI KVMスイッチは、オートスキャンモードを有効にすると、PC1とPC2の間を自動的に切り替えます

2. オートスキャンモードの設定方法の詳細については、第10章をご参照ください。

### 5.3 マウスホイール切り替え

マウスホイール切替方式は、マウスの操作で素早く入力ソースを切り替えることができます。マウスホイールをダブルクリックすると次の入力ポートに切り替わります。マウスホイール切替モードはデフォルトではオフになっています。マウスホイール切替モードを有効にするには、キーボードのホットキーコマンド [右Ctrl] + [右Ctrl] + [F6] を使用してください。

## 6. 操作方法

### 6.1 フロントパネルボタンの切り替え方法

2x1/4x1 HDMI KVMスイッチは、フロントパネルのキーパッド、IR リモコン、キーボードのホットキー、マウスホイール切替モードを使用して、いつでも任意の入力デバイスに切り替えることができます。個人のニーズと習慣に応じて、お好みの切替方法を選択できます。

- 2x1 KVMスイッチのフロントパネル

- KVMスイッチのフロントパネル上の[Select]ボタンを押すことで入力デバイスを切り替えます。  
例えば、[Select]ボタンを押し続けて「②」のLEDが点灯するまで押し続けます。これにより、PC2を入力として選択したことを意味します。



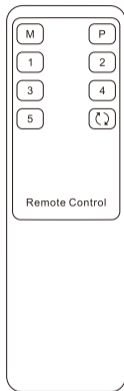
**ヒント：**「Online」のLEDは、KVMのUSBポートがPCに正しく接続され、認識されている場合に点灯します。  
「Select」のLEDは、現在選択されているコンピュータを示します。

- 4x1 KVMスイッチのフロントパネル
- フロントパネルのKVMスイッチ上の [ Select ] ボタンを押すことで、入力デバイスを切り替えることができます。各PCの識別に対応する [ Select ] ボタンを押すと、目的のPCに切り替えることができます。インジケータは、現在表示されているPCを示すために点灯します。





## 6.2 IRリモートコントロール



- ① — 入力ポート1に切り替えてください
- ② — 入力ポート2に切り替えてください
- ③ — 入力ポート3に切り替えてください
- ④ — 入力ポート4に切り替えてください

**ヒント：** 1. ボタン[3]とボタン[4]は4x1 HDMI KVMスイッチ専用です。  
2. 上記の指定されていないボタンは機能しません。

## 6.3 キーボードホットキー

- 外部キーボードのホットキーを使用して、入力ソースを切り替えたり、他の機能を設定したりすることができます。

**ヒント：**キーボードのホットキーは、KVMのキーボードおよびマウスの入力ポートに正しく接続された外部キーボードとのみ動作します。

2秒以内に **[ Right-Ctrl ]** キーを2回押し、その後3秒以内にコマンドを入力してください。KVMは対応するコマンドを実行します。

前の入力ポートを選択してください：  
**[Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[PgUp]**



次の入力ポートを選択してください：  
**[Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[PgDn]**



ポート番号でポートを選択してください  
(2x1 KVMスイッチの場合)：  
**[Right-Ctrl]→[Right-Ctrl]→[1]~[2]**



ポート番号でポートを選択してください  
(4x1 KVMスイッチの場合):

[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [1] ~ [4]



以下のホットキーコマンドは、2x1 KVMスイッチと4x1 KVMスイッチの両方で機能します:

マウスホイール切り替えモードをオン/オフにする:  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F6]



ブザーサウンドの無効化または有効化:  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [F11]



**ヒント:** ブザーサウンドのデフォルト設定は有効です。この手順を繰り返してブザーサウンドを無効または有効にすることができます。

オートスキャンモードをオンにする:  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [Space]



**ヒント:** デフォルトのオートスキャンの時間間隔は5秒です。フロントパネルのボタンを使用するか、次のページに示されている手順に従って時間間隔を変更することができます。

オートスキャンの時間間隔を増減させる：  
[Right-Ctrl] → [Right-Ctrl] → [+]/[-]



**ヒント**：このホットキーコマンドは、オートスキャンモードがアクティブな場合にのみ機能します。  
[Right-Ctrl]キーを2回押し、[+]/[-]キーを押し続けて時間間隔を連続的に調整します。1回の操作で1秒ずつ増減します。

[Esc]キーを押してオートスキャンモードを終了します。



## 7. ホットキーの組み合わせの変更

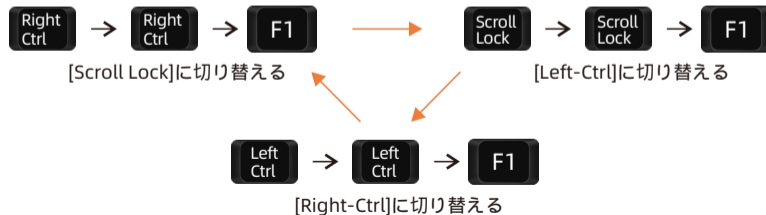
この製品には3種類のトリガーホットキーがあります。デフォルトは[Right-Ctrl]キーで、[Scroll Lock]キーと[Left-Ctrl]キーが代替オプションです。他のホットキーに切り替えるには、以下の手順に従ってください:

### 方法 1:

- KVMの電源を入れてから10秒後、フロントパネルの[Select]ボタンを押し続け、ブザーが鳴るまで押し続けます。これにより、コントロールホットキーが切り替わります。

### 方法 2:

- キーボードのホットキーを押して、制御ホットキーを循環的に切り替えます



## 8. パススルーモードの説明

### 8.1 パススルーモードの紹介

パススルーモードはKVMの内蔵機能であり、キーボードとマウスの互換性を向上させ、ユーザーエクスペリエンスを向上させることができます。パススルーモードでは、キーボードとマウスはコンピューターに直接接続されているのと同様です。この時、従来のKVMではサポートされていないより多くのキーボードとマウスの機能や特殊な機能を使用することができます。

**ヒント:** 現在のバージョンではBluetoothを介したキーボードとマウスの接続はサポートされていません。

## 8.2 キーボードとマウスの互換性モデルリスト

**ヒント:** 以下のリストは、市場シェアの高いメーカーを中心に、実験室でテストされた代表的なキーボードとマウスのモデルです。

ブランド	モデル	ブランド	モデル	ブランド	モデル	ブランド	モデル
Aigo	WQ-641	Logitech	G510	Logitech	Marble Mouse	RAPOO	X220
Dell	KB212-B	Logitech	G710	Logitech	Mk540	RAZER	RZ01-0145
Dell	KB522	Logitech	G910	Logitech	Mx1100	RAZER	RC30-021203
Logitech	G105	Logitech	K400PLUS	Logitech	Mx518	Corsair	K55
Logitech	G500S	Logitech	K845	Microsoft	Wireless Desktop 2000	Corsair	K70LUX





# TESmert TESmart

# To Enjoy Smart

— HKS0201A3U & HKS0401A3U —

Tesla Elec Technology Co.,Ltd

CE FC   HDCP 

WEEE-Reg.-Nr. DE 66784279